

オキ探 -7月の隠岐の自然- 8月号

赤い果実が森を彩るトチバニンジン（栃葉人參）



トチバニンジン
場所：大満寺山
撮影日：2021年5月21日



トチバニンジン
場所：大満寺山
撮影日：2021年7月2日



トチバニンジン
場所：大満寺山
撮影日：2021年7月29日

7月中旬ごろに隠岐の最高峰・大満寺山を歩くと、森の中で小さな赤い実が目立ちます。

これは、トチバニンジンという植物で、葉がトチノキに似ることからこの名前が付けられました。トチバニンジン
の根茎は薬になり、健胃や痰を取り除くのに効く薬として用いられます。

よく見ると赤い果実は円形に集まり（左写真）、花火のようにも見えます。

ついこの間まで、緑色の実が目立たなかった植物が限られた期間、隠岐の森を彩ります。

いつも同じだと思っている、身近な自然も違う季節に見てみると小さな変化に気づくかもしれません。

スタッフが観察した花々



ウワバミソウ（蟒蛇草）
山の蛇が出そうな暗い沢沿いに生える。別名ミズナ、ミズといい茎を茹でておひたしや天ぷらにするとクセがなく美味しい。
花期：4～9月
場所：真奥谷
撮影日：2021年7月2日



オカトラノオ（岡虎の尾）
丘陵の日当たりのよい草原によく見られる多年草。花の集まりを虎の尾に見立てたもの
花期：6～7月
場所：元谷
撮影日：2021年7月2日



ホタルサイコ（螢柴胡）
山地の日当たりのよい草地などに生える。島根県の絶滅危惧II類に指定されており、県内では隠岐のみで見られる。
花期：7～9月
島根県：絶滅危惧II類



サワダツ（沢立）
山地の谷沿いに生える低木。沢に覆いかぶさるように枝をだす。島後では山地の尾根沿いでも見ることができる。
花期：6～7月
場所：元谷
撮影日：2021年7月2日



ハエドクソウ（蠅毒草）
別名：ハエトリソウ。根を煮詰めた汁でハエ取紙を作ったことによる。花は5～6mmと非常に小さいがよく見ると白～淡紅色で美しい。
花期：7～8月
場所：真奥谷
撮影日：2021年7月2日



コオニユリ（小鬼百合）
山地草原に生える。隠岐では海岸沿いから見ることができ、海から眺める岩場のコオニユリは非常に美しい。
花期：7～9月
場所：浄土ヶ浦
撮影日：2021年7月10日



ツリガネニンジン（釣鐘人參）
山地でごく普通にみられる。春の若芽は「ととき」といい、オケラと共に古くから山菜として親しまれた。
花期：7～10月
場所：浄土ヶ浦
撮影日：2021年7月10日



キンミズヒキ（金水引）
細長い花の集まりを、植物のミズヒキに例えたもの。道端や草地に生える。
花期：7～10月
場所：海苔田鼻
撮影日：2021年7月15日



隠岐の大切な自然を守るために、**ルールとマナーを守りましょう。**

自然公園では動植物を許可なく採取することは法律で規制されています。



クズ (葛)

つる性の半低木で、根本は木質、上部は草質となる。根には大量のでんぷんが含まれており、根からクズ粉を取る。

花期：8～9月

場所：海苔田鼻

撮影日：2021年7月15日



ネムノキ (合歓の木)

林の縁や原野など日当たりのよい湿地によく生育する。夏に薄紅色の花を付ける。

花期：7～8月

場所：海苔田鼻

撮影日：2021年7月15日



ミズヒキ (水引)

花を上から見ると赤く、下からは白く見えるので、紅白の水引に例えた。

花期：8～10月

場所：布施

撮影日：2021年7月23日



ウバユリ (姥百合)

花期に葉が枯れていることが多いことから、「齒(葉)がない」の語呂合わせから名前が付いた。隠岐では7月になると道路沿いにウバユリが咲き誇る。

花期：7～8月

場所：五箇

撮影日：2021年7月26日



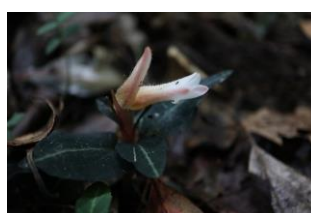
クサギ (臭木)

葉をもむと臭いにおいがすることからこの名前が付いた。全体に強い臭気があり、花は薄紅色で芳香がある。

花期：8～9月

場所：元谷

撮影日：2021年7月31日



ベニシスラン (紅繻子蘭)

山地の林内に生える、小さな植物で、草丈は10cmにも満たない。花は淡紅色の2cmほどの花をつける。

花期：7～8月

島根県：絶滅危惧II類



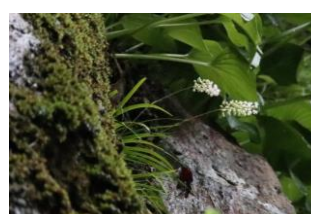
キツネノカミソリ (狐の剃刀)

葉の形をカミソリに例えた。葉は早春に伸びだし、花が咲くときには枯れる。

花期：8～9月

場所：家督山

撮影日：2021年7月30日



ハナゼキショウ (花石葛)

山地の岩上に生える多年草。島根県内の生育地は隠岐のみが知られている。隠岐内でも生育地はかなり限られる。

花期：7～8月

島根県：絶滅危惧I類

参考文献

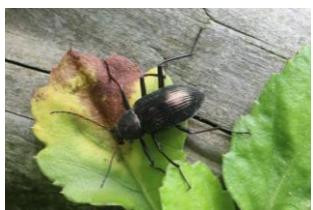
林 将之 (2016) 山溪ハンディ図鑑14樹木の葉、759pp、山と溪谷社、東京

林 弥栄・門田裕一・平野隆久 (2019) 山溪ハンディ図鑑1野に咲く花、664pp、山と溪谷社、東京

門田裕一・永田芳男・畔上能力 (2018) 山溪ハンディ図鑑2山に咲く花、616pp、山と溪谷社、東京

島根県環境生活部自然環境課 (2013) 改訂しまねレッドデータブック2013植物編、254pp、公益財団法人しまね自然と環境財団、島根

スタッフが観察した昆虫

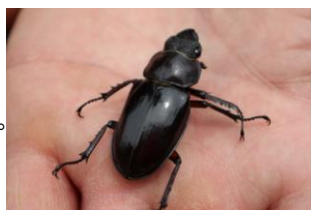


キマワリ

長い脚と丸いフォルムが可愛い。木の幹をくるくると回ることからこの名前がつけられた。

場所：海苔田鼻

撮影日：2021年7月15日



ノコギリクワガタ

写真はノコギリクワガタのメス。クワガタムシの仲間多くは夜活動するが、ノコギリクワガタは昼間も活動し、樹液に集まる。

場所：元谷

撮影日：2021年7月2日



ムラサキシジミ

写真はムラサキシジミのメス。体長は18～21mmで、表は青みがかった美しい色をしている。

場所：海苔田鼻

撮影日：2021年7月15日



コメツキムシの仲間

体が細長く、あお向けにされると「パチパチ」と音を立てて跳ね上がる。

場所：元谷

撮影日：2021年7月26日

【お問い合わせ】

(一社) 隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会

担当：立花

TEL：08512-3-1321

Fax：08512-3-1322

Email: info@oki-geopark.jp



隠岐の大切な自然を守るために、**ルールとマナーを守りましょう。**

自然公園では動植物を許可なく採取することは法律で規制されています。